

■BricsCAD 環境設定引継ぎツール

2017 年 11 月
ビージェーツソフト株式会社

本ツールは同一の PC で BricsCAD の旧バージョンのプロファイル(環境)を新バージョンに引き継ぐためのツールです。

BricsCAD は、新しいバージョンと古いバージョンが共にインストールされているとき、新しいバージョンを始めて起動すると、プロファイルなどの設定を新しいバージョンに移行するかどうかの確認のダイアログが表示されます。この時に環境を移行しないを選択した場合、後から設定を引き継ぐことができません。

BricsCAD NW(BricsCAD ネットワーク版クライアントインストーラ)のインストール時には旧バージョンがアンインストール(デフォルト)されます。その為、旧バージョンの環境移行を行うことができません。

本ツールでは旧バージョンをアンインストールした後でも、旧バージョンのプロファイルを新しいバージョンの BricsCAD に移行することができます。

ダウンロードファイル: BMig.zip

ダウンロードファイルを解凍します。

プログラム名: BMig.exe

対象 BricsCAD : BricsCAD V17 以前のバージョン

●準備

- 1.解凍された BMig.exe を任意の場所にコピーします。

●操作

1. BMig.exe をダブルクリックします。
- 2.旧バージョンの環境(プロファイル)が移行されます。



行対象プロファイル

- ログオンユーザーのすべてのプロファイル
- ログオンユーザーの LocalRootFolder^{※1}
- ログオンユーザーの RoamableRootFolder (default.cui と tipofday.txt *.lnk は除く)^{※2}
- default.cui に含まれる部分 cui ファイル^{※3}

※1 LocalRootFolder は、主にテンプレートがコピーされるフォルダです。

※2 RoamableRootFolder は、メニューなどがコピーされるフォルダです。

※3 旧バージョンのメニューファイル(default.cui)は新しいバージョンのメニューファイル(default.cui)に置き換えられます。ただし、追記された部分については、新しいバージョンのメニューファイルにも、追記されます。

●インストール先がデフォルトでは無い場合のプロファイルの移行

■旧バージョンのインストールの既定値(V14 の例)

"%Program Files%¥Bricsys¥BricsCAD V14 ja_JP" (V14 の部分はバージョン、bit によって変わります)

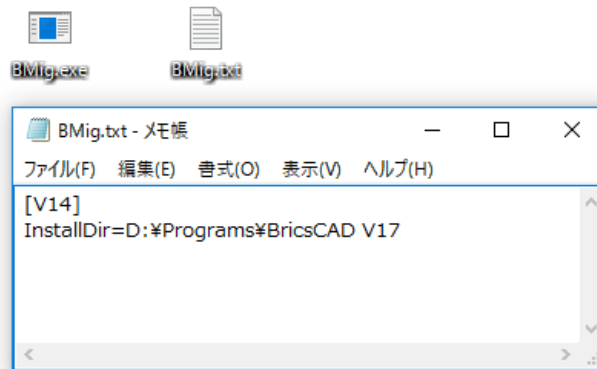
旧バージョンのインストール先が上記のデフォルト(既定値)では無い場合、任意に指定する必要があります。

1.BMig.exe と同じ場所にメモ帳などで BMig.txt を作成します。

2.BMig.txt を開き下記のように記述します。(インストール先:Dドライブの例)

[V14]

InstallDir=D:¥Programs¥BricsCAD V17



バージョンをセクション名とし、"InstallDir"をキーとして、インストール先のフォルダをフルパスで記述します。ただし、そのバージョンの BricsCAD が既存でインストールされている場合は、インストール先は設定ファイルではなく、レジストリから取得されます。

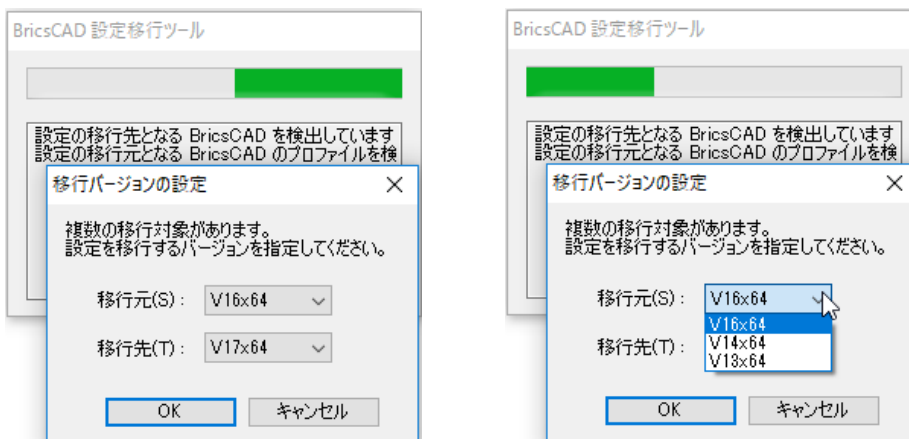
●複数のバージョンがインストールされている場合の移行

移行元または移行先のバージョンが複数存在する場合、選択するためのダイアログが表示されます。

移行元のバージョンと移行先のバージョンを選択してください。

例) V13,V14,V16 のプロファイルが残っていて、V17 がインストールされている場合

「移行元」から V13,V14,V16 のどちらから移行するかを選択します。



●コマンドライン オプション

以下のコマンドラインオプションが使用可能です。

オプション	説明
/l	ログファイルのパスを指定する。指定が無いときは、%TEMP%\BMig.log に作成される。
/s	確認のメッセージボックスなどを出さずに実行する。
/source バージョン	移行元バージョンを指定する(例:/source V14)。サイレントモード時で指定が無いが無効な場合、インストールされている最新の BricsCAD 未満で、最も新しいバージョンのプロファイルが移行元となる
/target バージョン	移行先バージョンを指定する(例:/target V12)。サイレントモード時で、指定が無いが無効な場合、インストールされている最新の BricsCAD が移行先となる。

複数のバージョンのプロファイルが残っている場合、コマンドラインにて"BMig.exe /source V14" 等のようにオプションキーを使用して有効なバージョンを指定して実行することが可能です。

この場合は、画面上でバージョンを選択することなく移行処理が行われます。

●制限事項

・ツールの実行前に、ログオンユーザで一度 BricsCAD を起動し、終了しておく必要があります。

※LocalRootFolder と RoamableRootFolder のいずれかが無い場合、処理を中止します。

・default.cui に加えられた変更は元に戻ります。(メニューの並び替えなども含む)

移行元対象バージョン: V10 ,V11 ,V12,V13 ,V14,V15,V16

/ 移行先対象バージョン:V11 ,V12 ,V13,V14,V15,V16,V17

・新しいバージョンのプロファイルを古いバージョンに移行することはできません。

・V15 から対応のリボンメニューは引継がれません。

以上